



高病原性鳥インフルエンザの防疫対策の 再徹底をお願いします！！

～9月の高病原性鳥インフルエンザに関する情報～

- 2021年～2022年シーズンの高病原性鳥インフルエンザの発生について、国の疫学調査報告書が農林水産省のウェブサイトに掲載されましたので、農場の防疫対策の参考として下さい。

http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/r3_hpai_kokunai.html

- 9月23日（金）、韓国において野鳥の糞便からH5亜型鳥インフルエンザウイルスが検出（高病原性は未確定）
- 9月26日（月）、神奈川県伊勢原市で発見された死亡野鳥（ハヤブサ）からA型鳥インフルエンザウイルスが検出（高病原性は未確定）

昨シーズンから欧州、北米で発生が続いています。さらに上記のことを踏まえると、我が国へ飛来する渡り鳥が本病のウイルスを保有している可能性が高いことから、今シーズンにおいても 厳重な警戒が必要です！

家きん飼養者の皆様におかれましては、引き続き裏面に記載している農場への鳥インフルエンザ侵入防止対策の再確認をお願いします。



農場における侵入防止対策

➤ 消毒等の徹底

- ・ 農場、鶏舎に出入りする人の着替え、車両等の消毒や鶏舎入口の踏込消毒槽の設置を徹底しましょう。
- ・ 敷地内（鶏舎周辺等）に消石灰を散布しましょう。

➤ 野生動物の侵入防止

- ・ 防鳥ネットに破れがないか点検しましょう。
- ・ 防鳥ネットは2cm以下のものを使用しましょう。
- ・ 畜舎周囲にエサ等の野生動物を誘うものを置かないようにしましょう。



➤ 関係者以外の農場への立入制限

- ・ 農場に出入りする人の記録及び手指消毒を徹底しましょう。

* 下記のような症状がみられたら、速やかに家畜保健衛生所へ

- ・ 過去3週死亡率と比べて、死亡率が2倍以上になった
- ・ 5羽以上まとまって死亡していた
- ・ とさか・肉垂等の暗青色化、沈うつ、産卵率の低下 など

八戸家畜保健衛生所

電話：0178-27-7415

FAX：0178-27-7418

夜間・休日：090-7069-7714